

# 令和7年度第3回小金井市図書館協議会 次第

日時 令和7年12月18日（木）午前10時から

場所 図書館別館

## 1 第19期小金井市図書館協議会委員委嘱状伝達式

## 2 議題

(1) 協議会会長互選及び職務代理指名について

(2) 小金井市図書館協議会について

(3) 令和7年度視察について

(4) 子ども読書活動推進計画状況について

(5) その他

## 2 配布資料

資料1	小金井市図書館協議会条例
資料2	第19期小金井市図書館協議会委員名簿
資料3	意見シート
資料4	令和6年度第4次小金井市子ども読書活動推進計画進捗状況

- ・公民館だより 11月号
- ・とうきょうの地域教育No.115
- ・新春市民のつどい

○小金井市図書館協議会条例

平成元年 3 月 4 日 条例第 3 号

改正

平成17年 3 月 2 日 条例第 7 号

平成23年 9 月 22 日 条例第 16 号

小金井市図書館協議会条例

(設置)

**第 1 条** 小金井市立図書館（以下「図書館」という。）の適正な運営を図るため、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条の規定に基づき、小金井市図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

**第 2 条** 協議会は、図書館の運営に関し小金井市立図書館長（以下「館長」という。）の諮問に応じる。

2 協議会は、図書館の行う図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

(組織)

**第 3 条** 協議会は、次の各号に掲げる者で、小金井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する委員 10 人以内をもつて組織する。

- (1) 市内に設置された学校が推薦した学校の代表者 1 人以内
- (2) 市内の社会教育関係団体が推薦した団体の代表者 1 人以内
- (3) 社会教育委員 1 人以内
- (4) 家庭教育の向上に資する活動を行う者 1 人以内
- (5) 学識経験者 3 人以内
- (6) 市民 3 人以内

2 前項第 6 号の委員は、公募によるものとする。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、原則として連続して 3 期を超えてはならない。

2 委員に欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

**第5条** 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によつて定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

**第7条** 協議会の庶務は、図書館において処理する。

(委任)

**第8条** この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

**付 則**

(施行期日)

- 1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。  
(特別職の給与に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の給与に関する条例（昭和31年条例第22号）の一部を次のように改正する。

別表第3中

「

社会教育委員	日額	7,600円
--------	----	--------

を

「

社会教育委員	日額	7,600円	
図書館協議会	会長	日額	8,400円
	委員	日額	7,600円

に改める。

**付 則**（平成17年3月2日条例第7号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の第3条の規定は、平成17年11月1日以降に委嘱する委員の組織から適用する。この場合において、改正後の第4条第1項の規定は、この条例の施行の際現に委員に委嘱されている者の平成13年11月1日以降の任期についても通算して適用する。

付 則（平成23年9月22日条例第16号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成23年11月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の小金井市図書館協議会条例の規定は、この条例の施行の日以後に委嘱する委員の組織から適用する。

（準備行為）

- 3 前項に規定する委嘱に必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

## 小金井市図書館協議会委員候補者名簿（第19期）

任期 自：令和7年11月 1日

至：令和9年10月31日

氏名	所属・推薦団体等	委員歴	摘要
しみず ひろみち 清水 裕徑	小金井市立小中学校長会 (第二中学校校長)	1期	1号委員 学校の代表者
もとはし あや 本橋 綾	小金井市子供会育成連合	新規	2号委員 社会教育関係団体の 代表者
いたみ ふみお 伊丹 文男	小金井市社会教育委員の会議	新規	3号委員 社会教育委員
やぎ ひでと 八木 英登	小金井市立小中学校PTA連合会	新規	4号委員 家庭教育の向上に資する 活動を行う者
おおぐし なつみ 大串 夏身	昭和女子大学名誉教授	3期	5号委員 学識経験者
はやし せいこ 林 聖子	亜細亜大学	3期	5号委員 学識経験者
いとう さとる 伊東 哲	東京学芸大学	2期	5号委員 学識経験者
ちかまつ あつみ 近松 淳美	公募市民	新期	6号委員 市民公募
たけい ヨシ 武井 ヨシ	公募市民	新期	6号委員 市民公募
にのみや りょうた 二宮 良太	公募市民	新期	6号委員 市民公募

小金井市図書館協議会 意見シート

傍聴の方は、会議中は一切発言が出来ませんので、予めご了承下さい。  
ご意見等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご記入者の方に当てはまるものに○印をお願いいたします。  
(複数当てはまる方はすべてに○印をお願いいたします。)  
市内 ( 在住 ・ 在学 ・ 在勤 ) ・ それ以外

ご意見ありがとうございました。

## 第4次小金井市子ども読書活動推進計画 進捗状況

※【事業実績自己評価】欄における評価基準について

A 計画どおりにできた

B 概ね計画どおりにできた(事業目標をある程度達成したが、今後の改善、検討を要する)

C できなかった

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和7年度以降の方向性、課題等	
第3章											
1	家庭・地域の取組	(1) 家庭における読書環境の充実に向けた支援	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の実施	読み聞かせや絵本を媒体としたコミュニケーションの大切さを啓発するために、0歳児から2歳児と保護者向けのおはなし会を継続的に実施します。	図書館	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →4回	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →10回	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →15回	0歳児から2歳児と保護者向けおはなし会の回数 →18回	A	令和6年度については、年度当初に予定していた実施日に加え、本館で実施日数を追加した。また、令和7年度以降の定期的なおはなし会の開催を見据え、時間や方法等を見直し、新たな実施方法を試行した。 今後引き続き内容の充実を図りながら、0歳児から2歳児までの幼児と保護者向けのおはなし会を継続的に実施する。
		(2) 地域における図書に関わる活動の充実に向けた支援	地域文庫やサークルなどへの支援の充実	地域でおはなし会などの図書に関わる活動に携わっている地域文庫やサークルなどの方々の活動を支援するため、団体貸出のサービスを実施します。	図書館	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用団体数 →10団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →144冊	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用数 →13団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →252冊	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用数 →12団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →186冊	おはなし会を実施しているボランティア団体の団体貸出の利用数 →5団体 おはなし会を実施しているボランティア団体の資料の貸出冊数 →116冊	B	令和6年度については、おはなし会を実施しているサポーターが減少し、貸し出し冊数が減少に転じた。後継者不足等の要因が散見されることであるが、今後も引き続き、地域でおはなし会などの図書に関わる活動に携わっている地域文庫やサークルなどの方々の活動を支援し、団体貸出のサービスを継続する。  ※「小金井市立図書館基本計画」にてボランティアの名称をサポーターと変更することが明記されているため、令和4年度から「おはなし会サポーター」という文言を使用する。
3	図書館の取組	(1) 読書環境の充実	成長に合わせた図書の提供	子どもの成長に合わせた蔵書構成を保つため、図書購入費を維持または必要に応じて増額し、魅力ある選書及び図書の購入を行います。	図書館	児童書の購入冊数 →6,995冊	児童書の購入冊数 →8,554冊	児童書の購入冊数 →7,907冊	児童書の購入冊数 →6,808冊	B	令和6年度は、市立中学校に在籍する全生徒へ電子図書利用IDを付与を行い、中学生の電子書籍利用の促進を図るため、電子書籍及び電子書籍読み放題パックの購入を増やした。このため、実物の資料の購入冊数が前年度と比較して若干、減少しているが、引き続き実物資料の購入冊数と電子書籍の購入冊数のバランスをとりながら、魅力ある図書を選書・購入し子どもの成長に合わせた蔵書構成に努めていく。
4			展示図書の充実	季節の行事だけでなく工夫を凝らしたテーマ展示を行い、様々な図書を手に取ってもらえるように努めます。	図書館	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)135回	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)152回	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)138回	テーマ展示の実施回数 →(実施回数)136回	A	令和6年度も、季節ごとのテーマ展示のほか、ミニ展示、庁内他課や市立小中学校との連携事業にあわせて展示、追悼展示等を行い、様々な図書の紹介を行った。 今後引き続き、季節の行事や工夫を凝らしたテーマ展示を行いながら来館者に様々な興味を誘引できる図書を紹介し、多くの資料を手に取ってもらえるよう努めていく。
5			コーナーの充実	図書館への親しみを感じてもらい、利用の拡充を図るため、児童書架及び乳幼児コーナー、YAコーナーの装飾や書架の見直しを行います。	図書館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し実施館数 →(実施館)2館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し実施館数 →(実施館)3館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し実施館数 →(実施館)2館	児童書架などの装飾の実施館数 →(実施館)5館 児童書架などの書架の見直し実施館数 →(実施館)1館	B	令和6年度については、全館で、乳幼児コーナーや壁面等に、季節に合わせた装飾物を展示した。また、本館では書架修繕及び修繕に伴う書架移動などを行い、さらに誰もが利用しやすいよう児童書架の見直しを行った。 次年度以降も、補助金や交付金の活用等を行いながら、児童書架等の配置換えや乳幼児コーナー、YAコーナーの展示方法等を見直し、親しみやすい空間の拡充に努めていく。
6		3歳から小学校低学年向けおはなし会の充実	図書や物語の世界に親しんでもらい、図書館へ来館する習慣づけとなるよう、3歳児から小学校低学年向けに定期的なおはなし会を実施する。	図書館	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →62回	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →109回	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →108回	3歳児から小学校低学年向けおはなし会の実施回数 →101回	A	前年度に続き、各回予定どおり実施することができた。本館での実施に際して、昨年度から参加者同士の密集を避ける等の理由から椅子での着座から、敷物を敷いた上に靴を脱いで座ってもらい親子と一緒に参加することが可能となった。なお、緑分室では従前同様、Web会議アプリを使用した「オンラインでスペシャルおはなし会」を開催した。 今後引き続き、図書館への親近感を養い、読書の楽しさを届けるきっかけとして3歳児から小学校低学年向けに定期的なおはなし会を実施する。	

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和7年度以降の方向性、課題等		
7	図書館の取組	2	(2) 読書活動の支援	継続的なイベントの実施	読書の機会や図書館への来館のきっかけづくりとなるよう、様々な世代に向けたイベントや講座を継続して実施する。	図書館	乳幼児、小学生、中学生、YA世代など様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →52回	様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →91回	様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →76回	様々な世代に向けたイベントや講座の実施回数 →81回	A	令和6年度についても、工作会やおたのしみ会のほか、小・中学生の一日図書館員のほか、中学生及び高校生、大学生の職場体験学習等の受入や子どもと読書に関する講座等を行った。 今後も引き続き、実施方法や定員等の見直しを行いながら、様々な世代に向けたイベントや講座を継続して実施する。 ※「様々な世代に向けたイベントや講座」には、またんけん等の他団体が主催するイベントにおいて、図書館が受入れを行ったものを含む。
				子どもの図書館運営への参加	図書館がよりお気に入りの空間となるよう、YAサポーターの活動などによって図書館の運営に携わってもらいます。	図書館	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)4回、(参加人数)11人	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)5回、(参加人数)16人	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)5回、(参加人数)22人	YAサポーターの活動(貫井北分室のきたまちYAひろばの実施回数と参加人数) →(実施回数)4回、(参加人数)21人	A	小学校高学年から25歳程度までのYAサポーター同士の交流や、テーマごとに、おすすめの本を持ち寄り、紹介しあうなどの活動を行った。 引き続き、図書館がよりお気に入りの空間となるよう、YAサポーターの活動などによって図書館の運営に携わってもらう。
				配慮が必要な子どもへのサービスの充実	外国語を母語とする子どもや、特別な支援を必要とする子どもの豊かな読書活動の支援のため、外国語絵本や点字絵本などの図書を選定するとともに、必要な体制について検討します。	図書館	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →13冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →78冊	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →10冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →89冊	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →3冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →96冊	点字絵本やLLブック(やさしく読みやすい本)などハンディキャップのある子ども向けの図書の購入冊数 →10冊 外国語絵本など外国語を母語とする子ども向けの図書の購入冊数 →59冊	B	令和6年度についても、LLブック等の特別な支援を必要とする子ども向けの図書の追加購入を行った。外国語図書については、英語図書を45冊購入し、本館では中国語図書を14冊購入した。 今後も、日本語を母語としない子どもや、特別な支援を必要とする子どもの豊かな読書活動を支援するとともに、多文化共生の視点から外国語絵本等の蔵書の充実にも努め、他団体等の事例を参考に必要な体制等について検討する。
10	図書館の取組	2	(3) 学校及び関係施設との連携	市立学校などへの団体貸出の充実	各学級で読書の機会を身近に感じ、また、授業で必要とする図書の提供を支援するため、団体貸出パックなどの資料をそろえるとともに、より利用しやすい貸出や配本のシステムを研究します。	図書館	学級文庫貸出の貸出冊数 →15,067冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →753冊	学級文庫貸出の貸出冊数 →17,863冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →1,143冊	学級文庫貸出の貸出冊数 →16,718冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →1,087冊	学級文庫貸出の貸出冊数 →16,876冊 調べ学習貸出の貸出冊数 →1,051冊	A	令和6年度についても、図書館ホームページ等における市立小学校への団体貸出パックの周知に努め、1年生から5年生用パックを新たに作成し、各小学校への利用希望への対応やパック利用の拡充等のきめ細かい対応に努めた。また、学級文庫貸出とあわせて調べ学習貸出を周知したことで、調べ学習貸出の貸出冊数の増加を図ることができた。 さらに、市教育研究会小中合同図書館部との意見交換や市立小中学校図書室司書との交流会を開催し、調べ学習の希望資料や学級文庫の団体貸出などについて意見交換を行った。 今後も引き続き、団体貸出パックなどの資料をそろえるとともに、インターネットを活用しながらより利用しやすい貸出や配本を研究する。
				幼稚園、保育園などへの絵本などの貸出	幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、絵本や紙芝居などを貸出し、子どもたちがより良い図書に触れられる機会が増えるように努めます。	図書館	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →400部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →2,936冊	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →1,500部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →2,590冊	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →1,500部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →3,745冊	読み聞かせ絵本リストの配布部数 →1,500部 子どもと関わりのある諸機関への団体貸出の冊数 →3,553冊	A	令和6年度は、「読み聞かせ絵本リスト」について、子どもの成長段階に合わせた本選びの参考となるよう、乳幼児向けリストの改訂、小学校中学年向けリストを作成し、発行したほか、こども家庭センターの3~4か月児健康診査受診者に配布しているブックスタートパックに同封した。また、幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、団体貸出を実施した。 引き続き、幼稚園、保育園などの子どもと関わりのある諸機関に、絵本や紙芝居などを貸出し、子どもたちがより良い図書に触れ読書を楽しむ機会が増えるように努めていく。 ※令和6年4月1日に「こども家庭センター」が開設されたことに伴い、令和6年度からブックスタート事業の担当課を「こども家庭センター」に変更している。
12	図書館の取組	2	(3) 学校及び関係施設への訪問の実施	図書館がより身近に感じてもらうため、学校や小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問による読み聞かせやブックトークを実施します。	図書館	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校37回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →0回	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校34回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →1回	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校33回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →0回	小学校1年生向けの学校訪問の実施回数 →9校33回 小金井市児童発達支援センター「きらり」などの施設への訪問 →0回	A	令和6年度も、前年度に引き続き、市立小学校1年生のクラスごとに学校訪問を実施した。 今後は、市内の学校や小金井市児童発達支援センター「きらり」などの福祉施設への訪問の他、読み聞かせやブックトークなどについて拡充を検討していきたい。	
13	図書館の取組	2	(3) 学校及び関係施設への訪問の実施	図書館をより身近に感じてもらうため、図書館見学や職場体験の受入れを行っていることを周知し、受入れの体制を整えます。	図書館	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →12回	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →30回	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →21回	図書館見学及び職場体験の受け入れ回数 →15回	B	令和6年度については、図書委員会の図書館見学、希望のあった学校について地域資料作成に係る授業の受け入れなどを行ったほか、本館及び分室で中学校2年生の職場体験の受け入れを行った。 今後は、引き続き地域と協力・連携しながら、図書館見学や職場体験の受入れを行っていることについて周知を図り、円滑な受入れの体制の整備を図る。	

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び 令和7年度以降の方向性、課題等
14	(3) 学校及び関係施設との連携	関係各課との情報共有	学校及び関係施設との関係を密にし、子どもの読書活動の推進について連携を行うため、交流会などの場を設け、情報共有を図ります。	図書館	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →1回	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →2回	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →2回	情報の交換や共有の場としての交流会の開催回数 →2回	A	令和6年度も、市教育研究会小中合同図書館との交流会の書面審議、市立小中学校図書室司書との交流会を開催した。図書館の児童行事取組を報告したほか、図書館からと市教育研究会小中合同図書館及び市立小中学校図書室司書からの質問を取りまとめ、相互に回答した。 また、市立小中学校図書室司書との交流会では、議題を踏まえたグループワークを行い、市立図書館と学校図書室で連携してみたい取組や連携するための課題について意見交換をした。 今後も引き続き、要望を踏まえて交流会などの場を設け、情報共有を図る。
15	図書館の取組	(4) 関係団体との連携	講習会等を行い、ボランティア団体相互の交流をはかり、ボランティア団体の活動支援を行うとともに、図書館においてボランティア団体によるおはなし会を実施することで、図書館とボランティア団体が協働して子どもたちが図書に触れる機会の充実に努めます。	図書館	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →29回	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →56回	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →57回	ボランティア団体への講習会等の実施回数 →2回 ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →64回	A	令和6年度は、本館、貫井北分室で、おはなし会サポーター向け講座を実施し、サポーターによる「おはなし会」を64回実施することができた。 今後も引き続き、図書館とサポーターが協働して特に乳・幼児期の子どもたちが図書に触れる機会の充実に努めていく。
16		図書館資料の再利用	図書館の除籍図書や寄贈図書を有効活用し、市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアにリサイクル図書を提供します。	図書館	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,138冊	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,285冊	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,721冊	市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティアなどへの児童書のリサイクル図書配布冊数 →1,598冊	B	令和6年度については、本館から市内の保育園や幼稚園並びに学校、地域ボランティアなどへ児童書のリサイクル図書の配布通知を送付し、選定したリサイクル図書1,598冊を配布した。 今後も、引き続き市内の保育園及び幼稚園、学校、地域ボランティア等の団体に児童書のリサイクルを周知するとともに、資源の有効利用に努めていく。
17	学校・学校図書館の取組	(1) 各市立学校での支援	読書をする機会の工夫と充実	指導室	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →12校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →13校	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →14校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →13校	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →14校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →14校	始業前などを活用した読書時間を実施している校数 →14校 読書週間・読書旬間を実施した校数 →14校	A	始業前だけでなく中休みや昼休みを活用した読書時間の設定、読書週間など読書に親しむための期間の設定など、各校が実情に応じて工夫して実施しているためA評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、読書をする機会の充実を図る。
18		読書活動推進計画の整備	年間指導計画に位置づけ、前年度の取組に対する課題を改善した読書活動推進計画を作成することにより、充実した読書活動ができるようになります。	指導室	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	読書活動推進計画を策定している校数 →14校 読書活動推進計画を改善した校数 →14校	A	全校、教育課程に読書活動の充実に関する計画を位置付けており、改善を図っているため、A評価とした。今後も教育課程への位置付けを継続し、読書活動の充実を図る。
19	学校・学校図書館の取組	地域との連携	ブックトークや読み聞かせ、図書整理や図書修理などのボランティア活動に、地域の人材の協力を得るよう働きかけます。	指導室	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →7校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →9校	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →7校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →9校	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →7校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →9校	小学校での地域ボランティアによるブックトークや読み聞かせを実施している校数 →9校 学校図書館の図書整理業務や図書修理業務への地域ボランティアを活用している校数 →10校	A	各校工夫しながらボランティアを活用しているため、A評価とした。今後、より各校の実情に応じたボランティアの導入を検討していきたい。
20		(1) 各市立学校での支援	各学校図書館の整備	蔵書の充実を図るとともに、配架の工夫や推薦図書コーナーの設置などを行います。また、学校関係者との情報交換を行い、蔵書の充実を図ります。	学務課・指導室	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の決算額、購入冊数) →(決算額)7,812,850円 (購入冊数)4,299冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →14校	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の予算額、決算額、購入冊数) →(予算額)8,417,000円 (決算額)8,510,053円 (購入冊数)4,490冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →14校	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の予算額、決算額、購入冊数) →(予算額)8,584,000円 (決算額)8,579,350円 (購入冊数)2,039冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →14校	学校図書館の図書資料の充実(学校図書館の図書資料の予算額、決算額、購入冊数) →(予算額)8,602,000円 (決算額)8,707,579円 (購入冊数)4,663冊 推薦図書コーナーなどの展示や装飾の充実(推薦図書コーナー設置校数) →1校	A

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和7年度以降の方向性、課題等
21		学校図書館支援員の配置	学校図書館支援員の配置を拡充し、学校図書館が円滑に運営できるように努めます。	指導室	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校5校 週2日	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校5校 週2日	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校9校 週2日	学校図書館支援員の配置日数 → 小学校9校 週3日 中学校5校 週2日	A	図書担当の教員だけでなく、図書委員や学校図書館支援員を活用するなど、各校の実情に応じて工夫して装飾等を行い、学校図書館の環境整備を図っているため、A評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、環境整備の充実を図る。
22	読書活動と関わりのある生涯学習部署の取組	図書に触れるきっかけ作り	公民館の主催講座の中で講座に関連する図書の紹介を積極的に行います。	公民館	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →24回	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →61回	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →83回	公民館主催講座で講座関連図書紹介の実施回数 →70回	A	今後も講座の内容・目的に合わせ、講座関連図書を紹介していく。
23		(1) 公民館 図書館との連携	公民館と図書館とが互いに連携・協力し、読書活動推進に向けた各種事業を実施します。	公民館	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →9回	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →14回	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →17回	公民館と図書館の連携事業の実施回数 →17回	A	図書館を併設している分館(東・緑・貫井北)において、公民館・図書館連携事業を実施しており、今後も継続して実施していく。
24		情報提供の拡充	読書活動の関連記事の掲載や掲示板などで広報を行い、読書活動推進の啓発活動を行います。	公民館	読書活動に関連する広報の実施回数 →2回	読書活動に関連する広報の実施回数 →4回	読書活動に関連する広報の実施回数 →4回	読書活動に関連する広報の実施回数 →4回	A	読書週間、読書推薦文コンクールポスター等を掲示した。今後も図書館と連携し関連記事の掲載やポスターによる情報提供を実施する。
25		(2) 生涯学習課 図書に触れるきっかけ作り	放課後子ども教室において、ボランティアなどの協力を得ながら読み聞かせなどを実施し、子どもの読書活動を推進します。	生涯学習課	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 →11回	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 →15回	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 →26回	放課後子ども教室で読み聞かせなどの実施回数 → 回	A	読み聞かせの数が増えており、子どもの本との関りを多く持つことができた。今後も、同様に本とのかかわりを持つ機会を作っていく。
26		読書活動団体への支援	読書活動を行っている団体などへの支援を行います。	生涯学習課	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 →2回	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 →5回	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 →11回	読書活動実施団体などの社会教育関係団体への支援の実施回数 → 4 回	A	子ども向けのおはなし会を定期的に行っている社会教育関係団体があり、その事業を教育委員会として後援している。そのほかにも後援している事業があった。
27	子どもと関わりのある生涯学習部署の取組	(1) 保育園 図書の充実	各園の図書の増冊を検討していきます。	保育課	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →239冊	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →280冊	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →215冊	図書コーナーの充実(公立保育園の購入冊数) →211冊	A	全園において在庫状況を鑑みながら絵本を購入することができ、絵本の充実が図れた。
28		読書環境の整備	子どもが読書に関心を持てるよう、年齢や季節に応じた図書の配置を行うなどの環境整備に努めます。	保育課	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	園児の興味を引くようなコーナーの飾りつけや展示を実施した公立保育園の園数 →5園	A	全園において絵本の紹介コーナーを設けるなど、絵本に親しみの持てる環境づくりができた。
29	子どもと関わり	(1) 保育園 読書による親子のコミュニケーションの推奨	園だより、クラスだより、保護者懇親会などを通じて、家庭における親子読書を推奨します。	保育課	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	各種たより、懇親会にておすすめ本などを紹介した公立保育園の園数 →5園	A	懇談会で保護者に本を紹介したり、クラスだより等で季節の絵本を紹介したり、保育室に絵本を展示するなど、家庭での読書を推奨する取り組みを行った。
30		(1) 保育園 図書の積極的な利用	絵本、物語を取り入れた保育活動を推奨していきます。	保育課	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →16冊	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →20冊	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →23冊	大型絵本での読み聞かせなど園児の興味を引く保育の実施(公立保育園の大型絵本の所蔵冊数) →19冊	A	園に大型絵本を所蔵していない園においても、近隣の図書館から大型絵本を借り子ども達と一緒に読んだり、日々の保育中やお誕生日会などでの読み聞かせを行うなど、本に親しむ機会を設けている。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び 令和7年度以降の方向性、課題等	
5 31	りのある諸機関の取組	絵本の貸出	絵本の貸出を行い、家庭で図書に触れる機会が増えるように努めます。	保育課	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →0回	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →880回	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →4, 266回	絵本貸出サービスの充実(公立保育園の絵本の貸出回数) →6, 956回	A	一部の園において、保護者への貸し出しが活発に「行われており、今後は全園に波及していきたいと考えている。	
		地域団体との連携	児童館において、紙芝居や読み聞かせを、地域の関係団体と連携して行っています。	児童青少年課	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →22回	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →24回	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →25回	ボランティア団体によるおはなし会の実施回数 →25回	A	昨年度と同様に実施することができた。今後も読み聞かせ等の図書に触れる機会の充実に向けていく。	
		(2) 児童館、学童保育所(児童青少年課)	読書環境の整備	各館、各所の読書活動の実態に合わせた図書コーナーの整備を図ります。	児童青少年課	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	児童の興味を引くようなコーナーの蔵書見直しを行った施設数 →14施設	A	引き続き、蔵書の見直しを行い児童の興味を引く内容や時事や流行しているテーマを読むことのできるよう整えていく。
		(3) 子ども家庭支援センター(子育て支援課)	読書による親子のコミュニケーションの推奨	親子読書、読み聞かせの場の提供と絵本の紹介を行います。	子育て支援課	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介(親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数) →25回387人	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介(親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数) →27回594人	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介(親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数) →36回725人	年代に合わせた親子読書、読み聞かせにふさわしい絵本の紹介(親子あそびひろばで実施した絵本や紙芝居の読み聞かせ事業の実施回数) →39回943人	A	感染防止対策の緩和に伴い実施回数が増え、参加人数も増加した。また、英語絵本の読み聞かせも行った。引き続き、活動を継続させていきたい。
		(4) 保健センター(健康課)	読書による親子のコミュニケーションの推奨	3~4か月児健診の場で、読み聞かせを行い、絵本をプレゼントするブックスタート事業を通して、読書による親子のコミュニケーションの充実を図ります。	健康課 →こども家庭センター(令和5年度進捗状況より)	月齢に合わせた読み聞かせの実施(ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数) →0回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →0回	月齢に合わせた読み聞かせの実施(ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数) →0回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →0回	月齢に合わせた読み聞かせの実施(ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数) →0回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →0回	月齢に合わせた読み聞かせの実施(ブックスタート事業での読み聞かせ実施回数) →860回 ブックスタート事業の幅広い周知回数 →860回	A	コロナウイルス感染拡大防止対策のため、活動を休止していたが、令和6年度は当初から予定通り実施できた。受診者への絵本進呈率は100%であった。令和6年度から、第1子、2子、3子で別々の絵本を進呈できるよう、絵本の種類を増やした。令和7年度以降も引き続き、読書による親子のコミュニケーションの充実を図って行く。
5 37	子どもと関わりのある諸機関の取組	(5) 障害者福祉センター、児童発達支援センター(自立生活支援課)	図書に親しむ機会の提供	閲覧用図書の整備や、読み聞かせにより図書に親しむ機会の提供を図ります。	自立生活支援課	興味を持ちやすい本の充実(きらりの児童書の蔵書冊数) →414冊 子どもの様子に応じた読み聞かせの実施(きらりと図書館の連携回数) →0回	利用者の特性に応じた本の充実(きらりの児童書の蔵書冊数) →645冊 発達段階に応じた読み聞かせの実施(きらりと図書館の連携回数) →1回	利用者の特性に応じた本の充実(きらりの児童書の蔵書冊数) →546冊 発達段階に応じた読み聞かせの実施(きらりと図書館の連携回数) →0回	利用者の特性に応じた本の充実(きらりの児童書の蔵書冊数) →525冊 発達段階に応じた読み聞かせの実施(きらりと図書館の連携回数) →0回	B	子どもたちの興味や発達に合わせて様々な図書に触れられるよう、随時蔵書を入れ替えたり、図書館の貸し出しを利用して、本や絵本だけでなく、大型絵本や紙芝居の読み聞かせ機会も多い。図書への興味を広げる機会として、以前行っていた図書館との連携事業である「読み聞かせ」を実施できるとよい。
		(1) 図書館からの情報発信	ブックリストの作成	乳児向け推薦図書や、おはなし会で読んだ絵本をまとめたリストを作成し、子ども・保護者に読んでほしい図書についての情報を発信します。	図書館	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和3年4月23日(金)~令和4年3月31日(木) 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和3年4月1日(木)~令和4年3月31日(木)	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和4年4月23日~令和5年3月31日 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和4年4月1日~令和5年3月31日	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和5年4月23日~令和6年3月31日 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和5年4月1日~令和6年3月31日	「読み聞かせ絵本リスト」の配布期間 →令和6年4月23日~令和7年3月31日 「赤ちゃん向け絵本リスト」の配布期間 →令和6年4月1日~令和7年3月31日	A	市内の図書館全館で、毎年4月23日の「子ども読書の日」にあわせて小学校・中学年向けの「おすすめ本リスト」を配布したほか、年間を通じて「赤ちゃん向け絵本リスト」を配布している。引き続き、こどもや保護者等に読んでほしい図書についての情報発信に努め、読書機会の拡充に努めていく。  ※令和5年度は、リストの内容を踏まえて、「読み聞かせ絵本リスト」の名称を「おすすめ本リスト」と変更した。

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び 令和7年度以降の方向性、課題等	
39	6 啓発・広報などの推進	子ども向け地域資料の作成	小学生の児童が小金井市について調べる際の資料が不足しているため、子ども向け地域資料を作成し、地域の調べ学習に活用します。	図書館	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	「小金井わくわくたんていだん」の作成シリーズ数 →1巻	A	小金井市立図書館では、小学校3年生以上を対象にこども向け地域資料「小金井わくわくたんていだん」を作成している。令和6年度は、「小金井の駅と鉄道」をテーマに作成し、これまでに6刷の資料を作成した。 今後も引き続き、地域の調べ学習に資するとともに、こどもたちにとって親しみやすいテーマを設定するなど、地域資料をより一層充実できるよう工夫・改善を図る。	
40		インターネット・SNSの活用	図書館ホームページやTwitterを活用し、おはなし会や講座などの情報を広く発信し、必要としている保護者・子どもに届くよう更なる広報活動に努めます。また、おはなし会や講座などの実施に関して、インターネット活用の研究をします。	図書館	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →131回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →122回	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →155回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →168回	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →155回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →149回	図書館ホームページ(子どものページ・YAのページ)を利用した情報発信の実施(図書館行事のHP更新回数) →145回 図書館Twitterを利用した情報発信の実施(図書館Twitterの情報発信回数) →268回	A	令和6年度においては、おはなし会などの児童行事やテーマ展示のお知らせ等を図書館ホームページやX(旧Twitter)での周知に努めた。この結果、各図書館行事終了後に行う参加者向けアンケートでは、図書館ホームページやX(旧Twitter)を見て行事について知ったとの回答が多くあり、プッシュ型サービスの有用性が検証された。 また、本館では、前年度に引き続き児童行事のLoGoフォームによる受付実施のほか、図書館行事の広報の一環としてX(旧Twitter)にて写真や動画を掲載し申込促進を図り、緑分室では、月1回のペースでWeb会議アプリを使用した「オンラインでスペシャルおはなし会」開催などを行った。このほか、貫井北分室では、児童行事等のオンライン開催を進めている。 今後も、引き続き様々な周知方法を模索し、おはなし会や講座などの情報の積極的な発信に努め、即時性かつ広範性を重視しつつ多くの保護者や子ども達に有益な情報が届くよう更なる広報活動に努めていく。	
41		(1) 保育園(保育課)	読書に関するイベント情報の発信	市立図書館を中心とした読書活動に関する各種行事の情報を市立小中学校や書店などの民間企業などと連携を図りながら普及啓発を図ります。	図書館	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計6回	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計12回	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計13回	市立小中学校や書店への図書館イベントチラシの送付回数 →合計11回	B	令和6年度も、貫井北分室で実施した児童対象の図書館イベントチラシの市立小中学校及び市内の高校への送付、市内のコンビニエンスストアでの図書館イベントチラシの配置の他、市内の書店へ図書館イベントチラシを送付し配置した。 今後も引き続き、市立小中学校や書店などの民間企業などと連携した各種行事の情報周知、普及啓発を図る。
42			YA世代に向けた情報発信	読書に時間を割くことが難しいYA世代に図書や読書についての情報が届けられるよう、定期的に広報誌を発行します。	図書館	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数) →4回	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数) →4回	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数) →4回	YA世代向け広報誌の発行(「KITAMACHIユース」の発行回数) →4回	A	前年度に続き、YA世代向け広報誌「KITAMACHIユース」を年4回発行した。 今後も引き続きYA世代に図書や読書についての情報が届けられるよう、定期的な広報誌の発行を行っていく。
43		図書館キャラクターの活用	図書館に親しみが持てるように図書館キャラクターを活用します。	図書館	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数 →88回	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数 →142回	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数 →108回	図書館キャラクターの活用、図書館ホームページや図書館だよりなどを利用したキャラクターの活用回数 →51回	B	令和6年度については、前年度と比べてキャラクターの活用回数が減少しており、この要因は、紙面上の都合により児童行事や館内掲示、装飾等で図書館キャラクターを掲載する回数が減少したことに加え、図書館ホームページやX(旧Twitter)などでは、図書館キャラクターの周知よりも優先すべき情報量が多くなったことにより活用回数が減ったことによるものである。 今後は、図書館キャラクターの認知向上を図りながら、図書館により一層の親しみをもっていただけよう市民周知の方法について工夫し、積極的に図書館キャラクターの活用を推進していく。	
44	啓発	学校図書館における広報活動	市立小中学校図書館での活動や図書に関する情報を児童・生徒に周知するため、各校で工夫した図書の紹介活動を行います。	指導室	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数) →全校で4回以上実施	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数) →全校で4回以上実施	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数) →全校で4回以上実施	図書の紹介活動の実施(市立小中学校図書館での図書の紹介活動を紹介した回数) →全校で13回以上実施	A	図書担当の教員だけでなく、図書委員や学校図書館支援員を活用するなど、各校の実情に応じて工夫して、図書の紹介活動を行っているため、A評価とした。今後も各校の取組を共有する機会を設け、図書の紹介活動の充実を図る。	

No	取組	施策項目	事業目標	所管部署	令和3年度事業実績回答	令和4年度事業実績回答	令和5年度事業実績回答	令和6年度事業実績回答	事業実績自己評価	評価の理由及び令和7年度以降の方向性、課題等
45	広報などの推進 6 (2) 各学校からの情報発信	読書感想文コンクールの実施	読書感想文コンクールを通して、児童・生徒が読書に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書に対する意欲の喚起と読書の習慣化を図るとともに、児童・生徒が読書後の印象や感動を文章で表現することにより、表現力の伸長を図ることに努めます。	指導室	「読書感想文コンクール」の実施 （「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数） →（参加者）1370人 （最優秀・優秀賞表彰者）15人 （入選）48人（佳作）165人	「読書感想文コンクール」の実施 （「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数） →（参加者）1081人 （最優秀・優秀賞表彰者）14人 （入選）54人（佳作）178人	「読書感想文コンクール」の実施 （「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数） →（参加者）1281人 （最優秀・優秀賞表彰者）14人 （入選）53人（佳作）213人	「読書感想文コンクール」の実施 （「読書感想文コンクール」参加者数及び表彰者数） →（参加者）1,100人 （最優秀・優秀賞表彰者）16人 （入選）50人（佳作）160人	A	読書感想文コンクール参加者数及び表彰者数については、一定程度の人数を維持しているため、A評価とした。引き続き、読書感想文コンクール参加を積極的に募集する。
第4章										
46	オリンピック・パラリンピック 7 (1) 各学校における読書活動を通じたオリンピック・パラリンピック教育の推進	オリンピック・パラリンピックに関連した読書活動	各学校図書館に、オリンピック・パラリンピックの歴史や日本の伝統・文化、国際理解教育、障がいに対する理解を深める図書などの充実を図ります。	指導室	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	学校図書館でのオリンピック・パラリンピック関連テーマ展示の実施校数 →7校	A	オリンピック・パラリンピックに関連した図書は各校に多数あるが、特別な展示コーナーを設置した学校は半数程度だったため、B評価とした。東京オリンピック・パラリンピックは閉幕したため展示コーナーの設置は難しいかもしれないが、各校の取組を共有する機会を設け、日本の伝統・文化、国際理解、障がい理解などのオリンピック・パラリンピック教育に関連した図書の紹介活動の充実を図る。
47	オリンピック・パラリンピック 7 (2) 図書館の取組	オリンピック・パラリンピック関連資料の紹介	子どもにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況などを著した学習・参考図書の充実を目指します。	図書館	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →（実施日）【本館】(YA)令和3年6月29日(火)～令和3年8月29日(日)(児童)令和3年7月20日(火)～令和3年8月31日(火)(一般)令和3年8月3日(火)～令和3年8月31日(火)、令和4年3月8日(火)～令和4年3月22日(火)【東分室】(YA)令和3年7月1日(木)～令和3年9月30日(木)【緑分室】(一般)令和3年7月1日(木)～令和3年7月15日(木)(児童)令和3年9月22日(水)～令和3年11月22日(月)【貫井北分室】(一般)令和3年6月30日(水)～令和3年9月5日(日)(一般)令和3年7月22日(木)～令和3年7月27日(火)(児童)令和3年7月22日(木)～令和3年8月31日(火)【西之台】(児童)令和3年7月9日(金)～令和3年8月31日(火) (実施回数)11回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →（実施日）【本館】(YA)令和4年9月27日(火)～令和4年11月6日(日) (実施回数)1回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →（実施日）なし (実施回数)0回	オリンピック・パラリンピック関連テーマ展示又はスポーツ関連テーマ展示の実施日と実施回数 →（実施日）【本館】(児童)令和6年7月23日～令和6年9月1日【貫井北分室】令和6年7月17日～令和6年9月10日 (実施回数)2回	B	前年度に引き続きオリンピック・パラリンピックに関する学習・参考図書を購入したものの、テーマ展示の実施回数が減少したことからB評価とした。 今後は、子どもたちにもわかりやすいオリンピック・パラリンピックの歴史、過去の開催状況や活躍を果たした選手を著した学習・参考図書の充実を目指す。